

平成 25 年度 群馬県サッカー少年連盟 第 2 回代議員総会 議事録

- 1 開催日時 平成 25 年 11 月 23 日（土） 16 時 30 分から 19 時 00 分まで
- 2 場 所 群馬県伊勢崎市 伊勢崎プリオパレス
- 3 代議員総数 20 人 （出席代議員数 14 人、委任状総数 6 人分 総計 20 人）
- 4 審議事項
 - 第 1 号議案 ミルク G T V 杯の競技人数等について
 - 第 2 号議案 モスバーガー杯の大会方式の変更について
 - 第 3 号議案 全日本大会の予選方式の変更について
 - 第 4 号議案 2 0 1 4 年度の日程について
 - 第 5 号議案 2 0 1 5 年度の日程について
 - 第 6 号議案 2 0 1 5 年度の 4 種リーグの試合方法について
 - 第 7 号議案 各チーム毎に 1 名以上の 3 級審判員が在籍していること
 - 第 8 号議案 各チーム毎に指導 C 級（D 級含む）を取得すること
 - 第 9 号議案 メンバー表中の「コーチ」と「審判」の氏名について
 - 第 1 0 号議案 女子の移籍について
- 5 その他

6 議事の経過の概要及び議決の結果

（1）開会

定刻に至り、司会者の田島が開会を宣し、本日の代議員総会は、出席者 14 名と委任状 6 名の計 20 名であり、群馬県少年サッカー連盟規約第 24 条 1 項の代議員 3 分の 2 以上が有効に成立した旨を告げた。

（2）議長、書記の選出

司会者が議長と書記の選出について諮ったところ、司会者一任の発言があり、司会者が一任の可否を求めたところ、全員異議なくこれに賛成した。このため、司会者が議長に牛久保敏之、書記に立花西毛地区委員長を指名し、議場に 諮ったところ、全員異議なくこれを承認し、牛久保敏之と立花西毛地区委員長はこれを了承し、議長と書記に就任した。

（3）審議事項

●第 1 号議案 ミルク G T V 杯の競技人数等について

- ・大会で一つくらい 1 1 人制の大会があっても良いのでは。
- ・ 3 決・決勝戦が 1 1 人制であるなら、予選から 1 1 人制にするべきである。
- ・高校選手権の前座で開催するからフルコートになる。それならば、高校選手権やザスパと切り離して開催出来ないか。

→現在、高校選手権の前座で開催しているから群馬テレビで放映されている。

切り離して開催する場合は、テレビ放送は無くなり、尚且つ、スポンサーも無くなる可能性がある。

結果：賛成10名、反対10名同数のため委員長の決により議案とおりとする。

●第2号議案 モスバーガー杯の大会方式の変更について

・県大会組合せの抽選方法はどうか考えているのか（東毛）

→これから決める（本部）

→全日本が年末へ2015年から以降するため、大会期間の短縮が必要になることも考慮している（議長）

・全県化に賛成、理由は4日間で行うことで地区大会が行えるようになるため（東毛）

・過去モス杯は全県で行っていて、地区予選に戻した理由は（西毛）

→運動会等の行事により、以前の代議員から戻すような意見による（議長）

・モス杯のブロック分けを前年度のU10の4種リーグ結果で行うのはどうか（中毛）

（西毛以外は行っているようである。西毛で開催して頂ければ良いのでは）

→地区予選の期間はどのくらいか（本部）

→3日間程度（中毛）

→12月の予定をもう少し早くしないと（東毛）

→チビリンピックがあるので無理（議長）

採決の結果：賛成18名 議案とおりに（地区で順位付けは任せる）

各地区で順位を付け、それを考慮する。

●第3号議案 全日本大会の予選方式の変更について

・4種リーグを行うのは理解、全県で4種リーグを行う必要はあるのか

→全日本に出場資格は4種リーグへ参加すること。地区により実力差があったり、前後期制にしたい等の意見もあるので全県としたい。（議長）

→グラウンドは地区割りか、全県にすると移動時間が難しいのではないかと（中毛）

→リスクが高すぎるとの意見あり。全県開催は反対意見の方が多かった。（南毛）

→北毛から東毛へは2時間の移動で翌日も開催するのでは負担が多すぎ（北毛）

→予選の4種リーグは地区に任せれば良いのでは

そもそも反対してもJFAからの指示なら決定事項なので議案ではないのでは（東毛）

結果：予選は4種リーグで行う。やり方は別途（賛成19票）

●第4号議案 2014年度の日程について

・日程表の一部（複数）修正あり

採決の結果：賛成18票 議案のとおり

●第5号議案 2015年度の日程について

- ・9月の下旬に運動会が多い、北毛は9月の中旬になる予定そのためミルク予選にあたるので予備等への振替えも検討頂けるのか。吾妻地区が該当。修学旅行も該当する。(北毛)
- 中毛地区も9月運動会がバラケテいるので9月のミルク予選は無理(東毛)
- ・日程表にある4種リーグの日程も決定か(東毛)
 - 決定ではないが、11/29の浜川を予約するのに2年前から動かないといけないため(西毛)
 - ミルクの開会式と総体等(浜川で開催される日程)の決勝日は決定したい(議長)
 - 2015年度から関東大会と北関東大会の出場枠は総体の結果となる(議長)
- ・全日本はスポ小との大会冠であったが今後はどうなるのか(北毛)
 - 今後調整。もしかすると小学生総体に代わる可能性もある。(議長)
- ・議案の変更：浜川競技場で開催の6/14・11/29・1/24の決定およびミルクGTV杯の予選を10/4までに終了する。についての決議に変更。

採決結果：賛成20票 議案変更の内容のとおり

●第6号議案 2015年度の4種リーグの試合方法について

- ・2014年度の4種リーグはどのように行うのか(北毛)
 - 今年と同じで各地区で行う。
- ・議案の④項が分からない(北毛)
 - 別ブロックとは、前期で上位2位までに入ったチームのこと。
 - 前期と後期を行う理由は(東毛)
 - 同じチームと行うことで、自チームの実力を図るためとJFAからのホーム&アウェー方式の推奨があるため(本部)
- ・プレミアリーグ数を32にするのは多すぎないか。少年にホーム&アウェーは関係ない(東毛)
 - 4種リーグは試合数により費用を頂けるため(議長)
- ・この試合数のグラウンドはどうするのか(南毛)
 - 小学校を想定(議長)
 - 小学校のグラウンドは規格違いやゴールが動かせない場合が多い。運動会準備の期間も考慮が必要である(南毛)
 - 議案の変更①項と5項のみを決にしたい(議長)
 - 本議案はまだ時間もあるので、代議員と役員でプロジェクトを組んで行うとかテストケースで一度やってみるとか今回はこのような方法もあるとの提案で持越しで良いのでは(中・南毛)
- ・来年度のモスバーガーの大会要項が出るまでに(2014.5月)決めないといけない
各地区の委員長と各地区代表1名でプロジェクトチームを決めたい(本部)
 - 各地区から2名ずつと本部役員でプロジェクトを発足させる(議長)

採決結果：賛成20名 議案変更：各地区2名ずつと本部役員でプロジェクトを発足させ、2014.5月までに4種リーグのやり方を決める。

●第7号議案 各チーム毎に1名以上の3級審判員が在籍していること

・各チーム3級審判員の在籍者が少ないため大会へ参加出来ないチームが多数発生するため反対
(東毛、南毛)

→試合は4級が行っても良い、3級審判員から高度な技術を伝達できるため在籍させてほしい

→議案変更：各チーム毎に3級審判員が在籍させること(議長)

→以前も同様であったが、名前だけでも良いのか(西毛)

→3級審判員がいることで高度な技術が伝達出来ることがあるから確保してください。

議案の2行目の2016年度～の文言を削除(議長)

→以前から3級審判員が在籍とのことであったのに、2行目を削除したら後退したようになってしまう。なぜ、議案とおりに決議しないのか(北毛)

→現在も3級審判員が在籍するチームが増えない状況なので、再度提案した。(議長)

採決結果：賛成12名 議案一部変更：2015年度中に3級審判員を在籍させる。

●第8号議案 各チーム毎に指導C級(D級含む)を取得すること

主旨：指導者の暴力行為が多い、指導者資格取得者はそれを学んだものが資格を持てること。

そして現在はチーム登録にD級指導者が必須であるが、名義を借りてるチームも存在している。

採決結果：賛成17名 議案とおりに

●第9号議案 メンバー表中の「コーチ」と「審判」の氏名について

主旨：メンバー表に登録されていないコーチが当日帯同した場合は、当日書き替えて本部へ提出して欲しい。登録されていないコーチがベンチで暴言を吐いたことの防止

実際に帯同した人の把握

・メンバー表に加筆は認めないとあるが、選手は認めないがコーチ、審判は認める。(議長)

→メンバー表に複数名の欄を作って「○」を付けることにしたら良いのでは(中毛)

今後欄を多く設けるメンバー表に変更する。それでも不足の場合は修正で対応(議長)

採決結果：賛成20名 メンバー表に枠を増やす。それでも不足時は各チームで修正して当日、提出する。

●第10号議案 女子の移籍について

前提条件：女子の移籍を前提

違う4種チームで登録されて、違うチーム(女子のみ5種)で大会の選手証チェック時に違うチーム名でチェックが可能なのか(中毛・東毛)

→4種委員長は可能と認めたいが、審判部と女子へ相談してみる(議長)

採決の結果：賛成20名 議案とおりに

(4) その他

功労者表彰者の報告

以上